

神奈川県 の 羊 歯 植 物
(3)

大 谷 茂*

Fern Flora of the Kanagawa Prefecture, Japan
(3)

Shigeru OHTANI*

(With 2 Plates)

I. 緒 言

この報告は本誌 13 号 (1967) につづくものである。ここに発表したものは、オンダ科 (Aspidiaceae) の中、*Diplazium*, *Dryopteris*, *Gymnocarpium*, *Leptorumohra* の 4 属である。

各々の種の学名、和名の次にかかげた生活型 (Life form) ならびに繁殖型 (Reproductive form) の略号の説明は、本報告 (1) (本誌 12号, 1966) に記載してあるので参照されたい。

各々の種の分布資料は著者の検し得た主要標本産地をあげることを原則としているが、一部は信頼できる文献を引用した。また著者自身の調査記録や自生地を確認したものもあげている。

現在は絶滅して、もはや見るができないものも、かつてその自生が明らかであったものは、できるだけとりあげて本県産分布の歴史を知る資料とした。

科、属、種の配列は行方・倉田、共編の日本産シダ植物総目録によっているが、一部最近発表された文献によって変えたところもある。

ここにこの報告をするにあたって、助言を賜った大場秀章氏始め、協力下さった田代信二、飯田和、城川四郎、府川勝蔵、長谷川義人、逸見操、斎藤照一、秋山守、守矢淳一、村上司郎の諸氏、ならびに横須賀植物会の石渡宏、西山清治、小坂橋八千代の諸氏に深く謝意を表す。

一地方の植物分布を詳細に正確に把握し報告することは、地方における多くの研究者の協力なくしては、その成果は望めないのである。今後多くの資料の提供を懇願して止まない。

II. 神奈川県産の種類とその分布

Classification and Distribution of the Pteridophyta of Kanagawa Pref.

18. Aspidiaceae オンダ科

Diplazium Swartz ヘラシダ属

[113] *Diplazium chinense* (BAK.) C. CHRISTENSEN ヒカゲワラビ (牧野, 1889) G(d)D₁R₂
(Fig. 3)

三浦: 葉山町, 二子山谷 (山田友久, 1953 YCM, 神奈川県および三浦半島新産)。大磯: 生沢

* 横須賀市博物館, Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan.

Collections Examined:

TI, Department of Botany, Faculty of Science, University of Tokyo.

TOFO, Forest Botany, Faculty of Agriculture, University of Tokyo.

NSM, National Science Museum, Tokyo.

YCM, Yokosuka City Museum, Yokosuka.

(田代信二, 1956; 同, 1958.7.25 YCM, 11 号台風—1958—で崩壊土の下敷となり, ほとんど絶滅)。奥湯河原 (飯田和, 1958; 飯田和・佐竹元吉・脇田罔輝・陣野一郎, 1962.1.3)。この種は下野, 越後能生町以南, 四国, 九州 (種子島, 屋久島を含む), 琉球 (沖永良部島), 濟州島, 中国 (上海, 杭州, 江西, 広西), 印支の暖帯の陰湿地に分布するもので珍しい種ではないが, 本県産シダとしては稀産種に属する。本種の Type loc. は中国の上海 (1867) であるが, 日本において古くは土佐別府村に (渡辺協, 1891), また土佐高知に (牧野富太郎, 1892) 採取されている。この種は鱗片が黒色で, 包膜は線形 (決して鉤形とならない) である。

[114] *Diplazium nipponicum* TAGAWA オニヒカゲワラビ (田川, 1933) G(d)D₁F₁

湯河原 (脇田罔輝, 1960—ワサビ沢に広範囲に分布; 飯田和, 1960.12.18 YCM), 湯河原, 泉 (石渡宏, 1961.12.10 YCM)。この種は暖帯の谷間陰湿地に生ずるシダで, 佐渡, 羽後, 陸前金華山以南の本州, 四国, 九州, 対馬, 中国 (浙江) に分布する。本県産シダとしては稀産種に属する。本種の Type loc. は越前 (田代善太郎, 1932) である。

[115] *Diplazium sibiricum* (TURCZ. ex KUNZE) KURATA

var. *glabrum* (TAGAWA) KURATA ミヤマシダ (牧野, 1899) G(d)D₁R₁ (Fig. 4)

丹沢山塊; 蛭ヶ岳 (大谷茂, 1935.8.17), 塔ヶ岳 (大谷茂, 1952.8.26 YCM), 檜洞丸 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957.8.1 YCM—西尾採品), 諸子平 (秋山守, 1961.6.24), 塔ヶ岳～竜ヶ馬場 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.22 YCM)。

箱根: 金時山 (小田原シダ研究グループ, 1957), 駒ヶ岳 (守矢淳一, 1963.7.24), 上二子山 (守矢淳一, 1965.7.29 YCM)。

この種はキタノミヤマシダ (カムチャッカ, サハリン島, シベリア, 満州, 朝鮮中部以北, 中国に分布するもので, 日本では信濃で布藤昌一氏により知られたが, 石灰岩地に極く稀に見られるという珍羊歯である。ミヤマシダに比し中肋と小肋の下面に密毛があるものである) の変種で温帯を中心に林下に生ずるシダである。近畿以北の本州, 北海道, 朝鮮中部以南に分布している。日本において古くは牧野富太郎先生が早池峰山に 1906 年すでに採取されている。Type loc. は甲斐白根山 (田川基二, 1932) である。本種は次の種のキョウタケンシダによく似ているが, 必ず根茎を長くひくので区別できる。

[116] *Diplazium squamigerum* (METT.) MATSUMURA キョウタケンシダ (松村, 1886) (キョウタケンシダ, 松村, 1904) Ch(d)D₁R₂

横浜: 帷子川流域, 上川井～上白根 (出口長男, 1952 稀)。三浦: 葉山二子山谷 (靱山泰一, 1933.1 TI)。津久井: 神ノ川 (田代・飯田・西尾, 1957)。大山: (村上司郎, 1960.6.26)。

丹沢山塊: 札掛 (倉田悟, 1956), 中津溪谷 (逸見操, 1957.7.7 YCM), 白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 塔ヶ岳 (大谷茂, 1958.8.5 YCM), 一ノ沢 (大谷茂, 1962.5.20 YCM), 西沢 (小粥康治, 1962.9.24 YCM), ヤビツ～札掛・札掛～タライゴヤ沢～塔ヶ岳 (西田・栗田・大場, 1962.8.21), 玄倉 (大谷茂, 1963.5.11 YCM), 姫次 (城川四郎, 1964.7.2 YCM)。

箱根: 畑宿 (大谷茂, 1953.6.26 YCM; 同, 1954.9.21 YCM; 同, 1963.8.17 YCM; 守矢淳一, 1964.9.13), 金時山 (小田原シダ研究グループ, 1957), 箱根植物目録 (箱根植物, 1913) に

は、産地として塔ノ沢と須雲川をあげている。

奥湯河原：(長谷川義人, 1951.6.3 YCM; 大谷茂, 1957.11.10 YCM; 村上司郎, 1964.6.2; 石渡宏, 1966.5.3 YCM)。

この種は温帯～暖帯の林下に生ずるもので、北海道(黒松内以南)、本州(各地)、佐渡、四国、九州、対馬、台湾、中国、ヒマラヤに分布している。

[117] *Diplazium subsinuatum* (WALL. ex HOOK. et GREV.) TAGAWA ヘランダ(田中, 1871)
H(e)D₁R₁

横浜：金沢区朝比奈(村上司郎・野間俊之, 1958.4.13; 大谷茂, 1962.2.10 確認)。

三浦：横須賀市佐野町ビワ山(大谷茂, 1950.7.16), 衣笠大谷戸川, 深山川(大谷茂, 1954.2.6 YCM), 平作(大谷茂, 1954.4.2 YCM), 田浦(石渡宏, 1963.1.27 YCM), 大楠山(小板橋八千代, 1965.12.13 YCM), 逗子海宝院裏谷(大谷茂, 1953.12.25 YCM), 神武寺(府川勝蔵, 1934.9.23; 大谷茂, 1949.4.10 YCM; 守矢淳一, 1949.11.20; 石渡治一, 1951.8.7 YCM; 大谷茂, 1951.12.3 YCM; 同, 1953.5.3 YCM; 同, 1953.7.28 YCM; 同, 1954.9.10 YCM; 同, 1956.1.2 YCM; 斎藤照一, 1957.8.10 YCM; 大谷茂, 1959.9.20 YCM; 村上司郎, 1961.11.3)。

鎌倉：佐助稻荷(間瀬美保子, 1959.8.24 YCM)。

山北：洒水滝(秋山守, 1960.5.15)。

丹沢山塊：玄倉(岩城潔, 1960.8.18 YCM)。

足柄下郡橘町前川(田代信二・西尾和子, 1957)。真鶴(逸見操, 1961.9.17 YCM)。

湯河原(大谷茂, 1958.10.22 YCM)。

箱根植物目録(箱根植物 1913)に湯本と湯河原を産地の一つとしてあげている。

この種は暖帯の谷の斜面に群生し葉面を下垂させているもので、能登不動山、常陸以南の本州の暖地、伊豆七島、四国、九州、対馬、屋久島、種子島、トカラ群島、奄美群島、沖縄、八重山、小笠原、台湾、濟州島、中国(稀)、フィリッピン、印度、セイロンに分布している。

この種の羽片の切込の深いものをギザギザヘランダ(伊藤, 1938)というが、とくにヘランダと別ける必要はない。

[118] *Diplazium Wichurae* (METT.) DIELS ノコギリシダ(田中, 1871) H(e)D₁R₁

横浜：金沢区朝比奈(村上司郎・野間俊之, 1958.6.8)。

三浦：横須賀, 阿部倉(大谷茂, 1953.12.6 YCM), 衣笠(大谷茂, 1954.2.7 YCM), 田浦十三峠(大谷茂, 1960), 同, 温泉谷戸(斎藤照一, 1960.7.10 YCM; 同, 1960.7.25 YCM; 大谷茂, 1962.6.24 YCM), 大楠山(石渡宏, 1960.5.1 YCM)。葉山, 下山川上流ヤナンサク谷・ウマノセ谷(大谷茂, 1953), 木古庭滝不動谷戸(大谷茂, 1953.12.12 YCM), 上山口正吟(小板橋八千代, 1966.11.25 YCM)。逗子, 神武寺(久保田金蔵, 1926.2.14; 府川勝蔵, 1933.6.18; 守矢淳一, 1949.11.20; 大谷茂, 1950.9.5 YCM; 同, 1952.11.10 YCM; 同, 1953.5.3 YCM; 同, 1953.8.10 YCM; 同, 1954.3.13 YCM; 同, 1959.9.20 YCM; 石渡治一, 1951.8.7 YCM; 長谷川義人, 1951.12 YCM; 同, 1956.1.2 YCM; 同, 1956.11.3 YCM; 斎藤照一, 1957.8.10 YCM)。

丹沢山塊：世附(林弥栄外3氏, 1961)。

足柄上郡山北, 洒水滝(箱根植物目録, 1913; 遠藤将光, 1957.10.20 YCM; 逸見操, 1958.8.23 YCM; 大谷茂, 1959.1.14 YCM)。

足柄下郡橋町前川 (田代信二, 1957)。

箱根: 旧道湯本発電所附近 (松野重太郎, 1913), 畑宿 (大谷茂, 1963.8.17 YCM)。

湯河原 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957; 大谷茂, 1958.11.15 YCM; 石渡宏, 1966.9.15 YCM)。

この種は暖帯の谷に普通見られるもので, 能登・房総・相模・武蔵以南の本州, 伊豆七島, 四国, 九州, 種子島, 屋久島, 奄美大島, 沖縄, 八重山, 濟州島, 台湾, 中国中・東部に分布している。

[附記] *Diplazium hachijoense* NAKAI シロヤマシダ (田代 ex 松村, 1890) G(d)D₁R₁

この種は暖帯～亜熱帯の谷間の陰湿地に生ずるもので, 隣接地伊豆湯河原, 泉 (脇田圀輝 1959) で採取されているが, 本県では発見されない。伊豆, 越後以西の本州, 四国, 九州, 琉球, 濟州島に分布している。Type loc. は八丈島である。

Dryopteris Adans. オンダ属

[119] *Dryopteris atrata* (WALL. ex KUNZE) CHING イワヘゴ (松村, 1884) Ch(e)(r)D₁R₃

横浜: 帷子川上流, 上川井 (出口長男, 採取年月不明, 自邸内に移植保存されている)。

三浦: 田浦 (靱山泰一, 1928.8.20 TI), 田浦温泉谷戸 (大谷茂, 1957.11.4 YCM), 葉山宝金山附近 (西山清治, 1965.11.1 YCM; 大谷茂, 1965.11.14 確認), 葉山峰山の池 (靱山泰一, 1968.2.4 YCM)。

箱根: 湯本旧道発電所・塔ノ沢 (箱根植物目録, 1913), 須雲川 (府川勝蔵, 1934.7.8 YCM), 同 (大谷茂, 1954.6.13 YCM), 畑宿 (大谷茂, 1953.6.21 YCM), 同 (守矢淳一, 1955.9.25), 早川上流 (小田原シダ研究グループ, 1957)。

奥湯河原: (長谷川義人, 1951.6.3 YCM; 守矢淳一, 1963.9.22), 日金山道 (大谷茂, 1964.9.27 YCM), 日金沢 (城川四郎, 1965.9.26 YCM)。この種は暖帯の谷間の陰湿地に生ずるもので, 常陸・越後以西の本州の暖地, 四国, 九州, 濟州島, 台湾, 中国南部, ビルマ, 印度北部に分布する。イワヘゴの名は実は霧島山地方の方言でツクシイワヘゴであったが, 今は本種の正名として使われるようになった。

[120] *Dryopteris atrata* (WALL. ex KUNZE) CHING

from. *cycadina* (FR. et SAV.) NAMEGATA et KURATA イヌイワヘゴ (中井, 1931)
Ch(e)D₁R₃

箱根: 須雲川 (飯田和, 1958), 同 (石渡宏, 1960.3.3 YCM)。奥湯河原 (大谷茂, 1961.12.26 YCM)。湯河原泉地区 (石渡宏, 1961.12.10 YCM)。この種は鱗片が赤褐色または黄褐色のもので, 稀にみられる少いものである。相模, 伊豆, 駿河, 越前, 紀伊, 長門の本州, 四国では土佐, 九州の肥後などに知られている。イワヘゴの鱗片は黒色～黒褐色で羽軸まで密生しているので両者の区別は明らかではあるが, なかには中間型があって連続してしまう傾向がみられる。したがって強いて分けねばという程度のもので, 分けなくてもよいものである。

[121] *Dryopteris austriaca* (JACQ.) WOYNAR ex SCHINZ et THELLUNG シラネワラビ (松村, 1886) H(d)D₁R₃ (Fig. 6)

丹沢山塊：蛭ヶ岳（久保田金蔵，1926.10.3），檜洞丸（田代信二・飯田和・西尾和子，1957.8.1；同，1958.8.19），檜洞沢（西田誠・栗田子郎・大場秀章，1962.8.21），車沢（田代・飯田・西尾，1959.8.20），塔ヶ岳～竜ヶ馬場（西田誠・栗田子郎・大場秀章，1962.8.22 YCM）。

箱根：神山（守矢淳一，1963.7.29 YCM）。

この種は北半球の温帯上位から亜寒帯，亜高山帯を中心に林下に多くみられるもので，本州（近畿以北，大山），四国（剣山，石槌山，小田深山），九州（久住山，市房山）に知られている。また国外の分布としてはサハリン島，千島列島，朝鮮，濟州島，台湾，カムチャッカ，シベリア，満州，ヒマラヤ地方，コーカサス，小アジア，ヨーロッパ，北米，アイスランドと広く分布している。和名シラネワラビは日光白根山に因む。

[附記] シラネワラビの学名は，まだ未解決である。最近の *Flora Europaea* (1964) p. 21 では *Dryopteris dilatata* (HOFFM.) A. GRAY を用いているが，これを採用した方がよいかと思う。この報告では従来採用しているものにしたがった。

[122] *Dryopteris austriaca* (JACQ.) WOYNAR ex SCHINZ et THELL.

from. *oblonga* (MILDE) H. ITO ナガバノシラネワラビ（児玉 ex 松村，1916）（ナガバシラネワラビ，宮部・三宅，1915）H(d)D₁R₃

丹沢山塊；蛭ヶ岳（府川勝蔵，1936.8.10），檜洞沢（城川四郎，1964.7.12 YCM）。シラネワラビは葉面が五角卵形であるが，この種は長楕円形のものである。両極端型を比較すれば区別はつくが，中間型があって連続するものである。シラネワラビの北方型といえる。上記附記の学名によれば *D. dilatata* from. *oblonga* (TAKEDA) となる。

[123] *Dryopteris Championi* (BENTH.) C. CHR. ex CHING サイコクベニシダ（児玉，1913）H(e)D₁R₃

横浜：神奈川県植物目録（1933）に報告されているが，疑問である。足柄下郡橘町羽根尾（田代信二・西尾和子，1957；田代信二，1958.8.27 YCM）。小田原市石橋（飯田和，1957；同，1958.9.3 YCM），米神川（松岡圀輝，1961）。真鶴（陣野一郎，採取年月不明）。湯河原泉（松岡圀輝，1961）。

この種は暖帯の林下，やや乾いたところに生じる。本州（常陸，越前，武蔵，千葉県成田市（行方沼東 1963.5.29 千葉新産），南関東以西），四国，九州（大隈以北），対馬，濟州島，中国に分布するものである。

[124] *Dryopteris Championi* (BENTH.) CHING

var. *tenuifrons* (H. ITO) H. ITO ギフベニシダ（伊藤，1933）（ウスバサイコクベニシダ，伊藤，1936）H(e)D₁R₃

湯河原：鍛冶屋（広川公一・飯田和，1961，神奈川県新産）。足柄上郡開成町（飯田和，1967.4.19）。

この種は暖帯の林下に生ずるもので，本州（相模・伊豆，丸野山・駿河，茶畑の中によく見られる。東海道・三河，高師ヶ原・近畿・越前以西），四国（土佐），九州（各地），濟州島，中国に分

布する。本種が初めて採集されたのは、山城宇治の鷲峰山である（竹内敬，1928）。

[125] *Dryopteris chinensis* (BAK.) KOIDZUMI ミサキカグマ（松村，1904）（ホソバノイタチンダ，松村，1886） Ch(d)D₁R₃

川崎：登戸（久保田金蔵，1938.5.22），多摩川上流，関戸（長谷川義人，1956.9.30 YCM）。

横浜：港北区，長津田（稲毛ヒサ，1934.5.27）；同区，中山～白根（大谷茂，1952.4.20）；同区，新羽（大谷茂，1955.8.7），鶴見区，鶴見三ツ池（大谷茂，1935），保土ヶ谷区，仏向（大谷茂，1935）；同区，帷子川流域北西部上川井（出口長男，1952.11.14 YCM）；南区，永田（長谷川義人，1956.5.31 YCM）；金沢区，八ツ坂（長谷川義人，1957.7.7 YCM）；同区，長浜（長谷川義人，1957.7.7 YCM）；戸塚区，戸塚（村上司郎，1963.8.21）。

三浦：武山々麓（大谷茂，1949），逗子桜山神明社裏山（大谷茂，1953.5.17；同，1955.7.27 YCM；同，1955.8.12 YCM）。

大磯：高麗山（守矢淳一，1965.6.20）。

大山：二重滝（田代信二・飯田和・西尾和子，1957.7.7）～大山頂上～ミノ毛。

丹沢山塊：札掛（倉田悟，1956）～塔ヶ岳～ユーンン～玄倉（西田誠・栗田子郎・大場秀章，1962.8.24），檜洞，丹沢山，世附（林弥栄外3氏，1961）。足柄下郡：橘町山西（西尾和子，1957.11.9 YCM）。

箱根：強羅・須雲川（箱根植物目録，1913），金時山（府川勝蔵，1936.8.29），同（小田原シダ研究グループ，1957），箱根（石渡宏，1964.12.29 YCM）。

湯河原（田代・飯田・西尾，1957）。

この種は温帯～暖帯の岩山の林下に生ずるもので，北海道，本州（陸中，羽前以南），四国，九州，屋久島，対馬，南朝鮮，濟州島，中国，印度支那に分布する。Type loc. は満州大連である。*Dryopteris chinensis* forma *polylepis* (NAKAI) H. ITO オオミサキカグマ（中井，1931）—（陸前，仙台，飯柴永吉，1929）は，ミサキカグマの極端品（大形のもの）であって区別するほどのものではない。

[126] *Dryopteris crassirhizoma* NAKAI オシダ（松村，1884） Ch(e)(r)D₁R₃ (Fig. 5)

横浜（稀産）：帷子川流域，港北区三保町・寺山町（出口長男，1952.10.15 YCM 横浜新産；同，1952.11.14 YCM）；上白根町細谷（内田光雄，1965.11.20 YCM）。

丹沢山塊：産地不明（村上司郎，1953.8.17），塔ヶ岳～丹沢山～蛭ヶ岳（久保田金蔵，1926.10.3；城川四郎，1960.9.4 YCM）～檜洞丸～犬越路～大室山（林弥栄外3氏，1961）；焼山～姫次～蛭ヶ岳（林弥栄外3氏，1961），西沢・用木沢（田代信二・飯田和・西尾和子，1958），石棚山檜洞丸間・丹沢山西斜面遭難碑附近に群生（西田・栗田・大場，1962.7.2-3），札掛～タライゴヤ沢～塔ヶ岳（同，1962.8.21）。

箱根：湯本（箱根植物目録，1913），神山（府川勝蔵，1933.6.9；守矢淳一，1960.9.23），台岳・二子山（小田原シダ研究グループ，1957），産地不明（村上司郎，1957.5.26）。

湯河原（田代・飯田・西尾，1957）。

この種は亜高山帯から温帯にかけて林下に生ずるシダで，北海道，本州（中国地方一稀，近畿以北），四国（剣山，石槌山脈），サハリン島，南千島（エトロフ以南），朝鮮，うつ陵島，濟州島，満州，シベリア東部，中国北部に分布している。

本種とミヤマクマワラビ，オクマワラビ，クマワラビとの雑種が，往々にして生じる。

[127] *Dryopteris decipiens* (HOOK.) O. KUNTZE ナチクジャク (三好, 1887) H(e)D₁R₃

横浜: 帷子川流域, 港北区三保町 (上川井といわれていたが三保町が正しい) (出口長男, 1952. 11.20 YCM 神奈川県新産, 極稀), 同 (内田光雄, 1954.8.17)。発見当時 6 株程見られたこの地域一帯が台風で崖が崩れ埋没, 現在絶滅してしまった。

この種は暖帯下位の岩地に生ずるシダで, 日本では古くは三好学博士が明治初年に紀伊那智山にて採集された。Type loc. は中国の福州である。

本種の分布は, 本州 (武蔵一横浜, 伊豆, 東海, 南畿, 宮島, 周防), 四国, 九州, 屋久島, 対馬, 沖縄, 中国, 香港である。

[128] *Dryopteris Dickinsii* (FR. et SAV.) C. CHRISTENSEN オオクジャクシダ (牧野, 1898) Ch(e)(r)D₁R₃

大山 (秋山守, 1963.8.23)。

丹沢山塊: 白井平 (秋山守, 1963.7.26)。道了山 (石渡宏, 1964.12.29 YCM; 大谷茂, 1965. 1.29 YCM)。

箱根: 宮ノ下 (箱根植物目録, 1913), 畑宿滝坂 (大谷茂・府川勝蔵, 1934.7.8 府川氏所蔵; 大谷茂, 1953.6.21 YCM), 畑宿 (石渡宏, 1964.12.29 YCM), 須雲川 (大谷茂, 1954.6.13 YCM)。奥湯河原 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957; 守矢淳一, 1963.9.22; 西山清治, 1966.9.18 YCM)。

この種は暖帯の陰湿地に生ずるシダで, とくに温帯にまでおよぶことがある。Type loc. は伊豆熱海で, 明治初年 Savatier 氏が採取している (1877)。

本種の分布は北海道 (奥尻島一工藤祐舜, 1916 オクシリイワヘゴと称したもの), 本州 (岩代一玉貫, 1914 オオイワヘゴと称したもの, 越後以南, とくに中国地方に多い), 四国, 九州, 中国である。

[129] *Dryopteris erythrosora* (EAT.) O. KUNTZE ベニシダ (田中, 1871) H(e)D₁R₃

川崎: 登戸附近 (武蔵登戸附近植物目録, 1932)。

横浜: 南区, 弘明寺 (長谷川義人, 1955.12.8 YCM); 同区, 永田 (長谷川義人, 1955.12.24 YCM); 同区, 中里 (長谷川義人, 1955.12.25 YCM), 磯子区円海山 (長谷川義人, 1956.2.24 YCM), 金沢区釜利谷 (長谷川義人, 1957.6.9 YCM); 同区富岡 (長谷川義人, 1957.7.7 YCM), 帷子川流域上川井 (出口長男, 1952.11.14 YCM), 戸塚 (村上司郎, 1965.8.23)。

三浦: 横須賀, 久里浜 (大谷茂, 1949.9.20 YCM); 同, 馬堀 (大谷茂, 1961.6.2 YCM 三角型); 同, 衣笠山 (大谷茂, 1962.2.17 YCM 三角型); 田浦 (石渡宏, 1962.4.1 YCM); 池上 (小板橋八千代, 1965.1.16 YCM); 阿部倉 (小板橋, 1965.12.27 YCM; 同, 1966 YCM); 大明寺 (小板橋, 1966.2.7 YCM); 平作 (小板橋, 1966.3.24 YCM); 大楠山 (石渡宏, 1966.6.26 YCM; 小板橋, 1966.12.29 YCM); 汐入 (小板橋, 1967.1.10 YCM); 坂本 (小板橋, 1967.1.10 YCM)。逗子, 神武寺 (大谷茂, 1933.8.10 YCM; 久保田金蔵, 1939.10.28 府川勝蔵氏所有一 Det. H. Ito 1938. 11.23 三角型; 石渡治一, 1951.8.7 YCM; 大谷茂, 1953.5.3 YCM; 同, 1953.7.28 YCM; 同, 1954.7.23 YCM; 同, 1959.5.16 YCM 三角型; 岩城潔, 1960.10 YCM); 同, 桜山 (大谷茂, 1954.6.5 YCM; 同, 1958.6.21 YCM); 同, 沼間 (大谷茂, 1959.11.22

YCM; 石渡宏, 1963.2.24 YCM)。葉山, 二子山 (大谷茂, 1951.6.6 YCM; 同, 1955.11.6 YCM); 同, 木古庭 (大谷茂, 1956.8.14 YCM)。

鎌倉: 天園 (大谷茂, 1960.10.20 YCM 三角型), 今泉 (石渡宏, 1963.3.18 YCM)。

大磯: 高麗山 (守矢淳一, 1961.1.6)。

丹沢山塊: 札掛, 布川流域の札掛より下流 (倉田悟, 1956), 大山・玄倉・ユースン・世附 (林弥栄外3氏, 1961)。

足柄上郡中井町俎原 (西山清治, 1963.1.4 YCM)。

箱根: 湯本 (箱根植物目録, 1913), 早川上流・二子山 (小田原シダ研究グループ, 1957), 畑宿 (大谷茂, 1963.8.17 YCM)。この他各地に普通に見られるものである。

この種は暖帯の林下に多いもので, 本州 (陸中, 羽前以南一山形県西田川郡, 岩手県釜石市……北限), 伊豆七島, 四国, 九州, 種子島, 屋久島, 対馬, 済州島, 南朝鮮, 中国に分布する。

本種の葉身は普通卵形であるが, 三角形から長楕円形まで変異が見られる。したがってホソバベニシダ (伊藤, 1936) forma *angustata* (NAKAI) H. ITO, トガリバベニシダ (伊藤, 1936) forma *caudata* (NAKAI) H. ITO, サンカクベニシダ (伊藤, 1936) forma *subdeltoidea* (NAKAI) H. ITO と区別する必要はない。

[130] *Dryopteris erythrosora* (EAT.) O. KUNTZE

form. *viridisora* (NAKAI) H. ITO ミドリベニシダ (伊藤, 1936) H(e)D₁R₃

三浦: 横須賀, 田浦温泉谷戸 (大谷茂, 1964.6.10 YCM)。道了山 (飯田和, 1959)。小田原市入生田 (飯田和, 1960)。標本産地は少ないが, 各地に見られるもので, ベニシダと混生している。本種は包膜が赤くないもので関東, 東海, 近畿などで報告されているが, 他の地方にも分布しているものと思う。

[131] *Dryopteris fuscipes* C. CHRISTENSEN マルバベニシダ (牧野, 1889) H(e)D₁R₃

横浜: 帷子川流域 (出口長男, 1953—稀, 著者は確認していない)。

丹沢山塊: 大山・玄倉 (林弥栄外3氏, 1961, 著名は確認していない), 丹沢山塊山麓の谷筋 (丹沢大山学術調査報告書, 西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962, 林弥栄氏の報告を引用されたものであって著者は確認していない)。

箱根: 早川 (飯田和, 1956)。足柄下郡吉浜 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957)。

この種は暖帯下位の林下に多いもので, サイコクベニシダとは鱗片が全辺であることと, 子のう群が中肋寄りにつくので異なる。

本種の分布は, 本州 (越後, 常陸, 南関東, 東海, 越前, 近畿, 中国), 隠岐, 伊豆大島, 四国, 九州, 対馬, 南鮮, 台湾, 中国である。

[132] *Dryopteris gymnophylla* (BAK.) C. CHRISTENSEN サクライカグマ (伊藤, 1936)
H(e)D₁R₃

川崎: 生田 (久保田金蔵, 1943. 10.6)。

横浜: 港北区中山～白根 (大谷茂・府川勝蔵, 1933.5.14; 大谷茂, 1952.4.20 YCM), 帷子川流域上白根 (出口長男, 1952.8.24 YCM)。三浦: 横須賀, 田浦温泉谷戸 (斎藤照一, 1960.7.25

YCM)。平塚：平塚市，土屋（川上伸子，1967.8.6）。

津久井郡：相模湖畔（檜山庫三，1949.11.29），中野町（平沢愛三，1965.8.2 YCM），城山（歌川義男，1955.9.18；間瀬美保子，1962.4.29 YCM）。

足柄上郡中井町マナイタ原の谷（西山清治，1962.1.4 YCM），道了山（大村・朝倉修一・松島，1956；大谷茂，1965.1.29 YCM）。

足柄下郡橋町小竹（田代信二・西尾和子，1956；西尾和子，1956.12.20 YCM），小田原市水ノ尾（飯田和，1957）。

この種は暖帯の岩のある斜面の林下に生ずるもので，本州（関東各地一茨城県大子町，行方沼東 1963.4.23 茨城新産一甲斐，信濃，駿河，遠江，三河），朝鮮，中国（遼東半島，中支）に分布している。タカオミサキカグマ（伊藤），コウライイタチンダ（田川）—朝鮮光陵（小泉源一，1932）は葉の厚い一型につけられた異名である。

[133] *Dryopteris* × *hakonecola* KURATA ハコネオオクジャク（倉田，1958）
Ch(e) (r) D₁R₃

道了山（行方沼東，1956.11.3；倉田悟一裁品，1964.5.31 YCM）。

この種は行方沼東氏が道了山中腹の林中で初発見されたもので，倉田悟先生がオオクジャクンダとオクマワラビの雑種と判断し発表されたものである。オオクジャクンダに比して下部羽片はあまり縮小しない，羽片数少く 15 対前後である。オクマワラビに比して，羽片の切込みが浅く，基部にて中裂に止まる。この両羊歯が混生するところには，本種が生ずる可能性が充分あるが，今のところ県内他地域に発見されていない稀産種である。

本種の分布は本州（羽前，相模，駿河，伊豆），九州（肥後—熊本県人吉南方矢岳高原）である。

[134] *Dryopteris hondoensis* KOIDZUMI オオベニシダ（伊藤，1933） H(e) D₁R₃

横浜：港北区中山（府川勝蔵，1933.5.14—Det. 伊藤洋，1938.11.23），帷子川流域上川井（出口長男，1952.11.20 YCM；村上司郎，1964.11.28），戸塚区戸塚（村上司郎，1965）。

三浦：横須賀，馬堀（大谷茂，1961.6.2 YCM）；衣笠公園（大谷茂，1962.2.17 YCM）；田浦温泉谷戸（大谷茂，1962.11.11 YCM；石渡宏，1964.6.11 YCM 典型品）；田浦大作谷戸（大谷茂，1963.1.13 YCM）；大楠山（石渡宏，1966.6.26 YCM）；大楠山～子安間前田川支谷（山田友久，1963.1.27）；武一金子トンネル西側（石渡宏，1963.4.21 YCM）；池上（小板橋八千代，1965.12.13 YCM）；鷹取山（石渡宏，1966.2.12 YCM）。逗子，柳作（内野義三，1953）；桜山（大谷茂，1957.6.15 YCM；同，1957.7.30 YCM）；南台（大谷茂，1957.8.19 YCM）；沼間（大谷茂，1959.11.22 YCM；石渡宏，1963.4.29 YCM）。葉山，二子山（内野義三，1951）。

鎌倉：北鎌倉，円覚寺（靱山泰一，1929.7.3 TI），北鎌倉（靱山泰一，1957—久しく見失われていたのを確認された），深沢手広—鎌倉山裏側（靱山，1965.7.4），覚園寺（靱山，1967.5.28）。

藤沢：引地川上流（靱山泰一，1966）。

平塚：土屋（守矢淳一，1967.10.29 YCM）。

大磯：高麗山（守矢淳一，1960.8.6；同，1961.1.6）。

丹沢山塊：西沢（田代信二・飯田和・西尾和子，1958.8.18）。

足柄下郡橋町：小竹（西尾和子，1956），前川・羽根尾（田代信二，1957）。

道了山（飯田和・松島，1956.11.3），同（石渡宏，1965.1.29 YCM）。

箱根：須雲川（飯田和，1959）。

奥湯河原：（田代信二・西尾和子，1959.8.10；大谷茂，1961.12.26 YCM）。

この種は暖帯の林下，疎林に生ずるもので，トウゴクシダに似て最下羽片の柄が明らかなものである。小羽軸につく小形袋状鱗片は稀に生ず。本州（磐城，関東，東海，越中，越前，南畿，山陽），佐渡，四国，九州，対馬に知られている。

本種は小泉源一博士が京都吉田山に，また田川基二博士が京都左京区花背町別所（Prov. Yamashiro, Ottagigun, Hanasemura, Bessho-ig. M. Tagawa; Kyoto, Yoshidayama-ig. G. Koidzumi）での採品によって，*Dryopteris hondoensis* KOIDZUMI ヒロハベニシダ（小泉，1932）と，また一方で初山泰一氏が鎌倉円覚寺（1929.7.3）で採ったものと，美濃産（Mino, Iwato urbis Gihu-Y. Simasaki, 1931.10.15）のものによって *Dryopteris rhomboideo-ovata* H. ITO オオベニシダ（伊藤，1933）として，東西相前後して別の名で発表されたものである。

[135] *Dryopteris lacera* (THUNB.) O. KUNTZE クマワラビ（田中，1871）Ch(e)(r)D₁R₃

横浜：帷子川流域上川井（出口長男，1952.11.10 YCM），金沢区六浦町（石渡裕之，1967.8.24）。

三浦：横須賀，田浦（大谷茂，1951.11.25 YCM；斎藤照一，1957.7.25 YCM）；大楠山（石渡宏，1961.5.3）；坂本（小板橋八千代，1965.12.20 YCM）；阿部倉（小板橋，1965.12.20 YCM；同，1965.12.27 YCM やや中間型；同，1966.3.24 YCM 薹葉）；鷹取山（石渡宏，1965.8.29 YCM）。逗子，神武寺（長谷川義人，1951.12 YCM；大谷茂，1963.9.20 YCM）；桜山（大谷茂，1955.8.10 YCM）；海宝院谷（大沢雅彦・大場秀章，1961.9.23 YCM）。葉山，二子山（大谷茂，1949.9.25 YCM；同，1949.10 YCM）。

鎌倉：本郷（府川勝蔵，1933.7.9）；天園（石渡宏，1960.10.23；同，1960.12.18 YCM）；北鎌倉（長谷川義人，1956.2.19 YCM）。

大磯：高麗山（守矢淳一，1952.10.20）。

愛甲郡宮ヶ瀬村落合（逸見操，1956.8.1 YCM；同，1956.10.10 YCM）。

丹沢山塊：札掛（倉田悟，1959）；大山・ヤビツ峠～札掛・ユージン・長者舎・世附（林弥栄外3氏，1961），檜洞沢（西田・栗田・大場，1962.8.21）。

山北：大野山（大谷茂，1957.10.27 YCM）。

箱根：強羅・湯本（箱根植物目録，1913）；早川上流・二子山（小田原シダ研究グループ，1957）；須雲川（石渡宏，1960.3.3 YCM）。

この種は暖帯から温帯下位におよぶ山野に普通に見られるもので，北海道（奥尻島），本州各地，佐渡，伊豆七島，四国，九州，屋久島，対馬，満州南部，朝鮮，済州島，うつ陵島に分布している。

[136] *Dryopteris lacera* (THUNB.) O. KUNTZE
form. *intermedia* H. ITO アイノクマワラビ（伊藤，1939）Ch(e)(r)D₁R₃

横浜：港北区中山（府川勝蔵，1933.5.14 オクマワラビに近い型）。

三浦：横須賀市鷹取山（石渡宏，1965.12.26 クマワラビに近い型）。

鎌倉：北鎌倉（大谷茂，1956.2.19 YCM）。厚木日向薬師（逸見操，1958.11.3 YCM）。

丹沢山塊：大山～ヤビツ峠（逸見操，1956.8.7 YCM）。

山北：洒水滝（守矢淳一，1961.11.12）。

この種はクマワラビとオクマワラビの中間的なもので，Type loc. は高知県土佐山村である。

[137] *Dryopteris monticola* (MAKINO) C. CHRISTENSEN ミヤマベニシダ (牧野, 1899)
H(e)D₁R₂

丹沢山塊: 檜洞丸 (大谷茂, 1957. 8. 1 YCM; 田代・飯田・西尾, 1958. 8. 19, 田代信二採品 YCM); 檜洞~小川谷 (大谷茂, 1961. 8. 28 YCM); 丹沢山 (大谷茂, 1962. 9. 22 YCM); 湯の小屋 (城川四郎, 1966. 8. 10 YCM); 塔ヶ岳一丹沢山一蛭ヶ岳一檜洞丸一大越路一大室山一加入道山 (林弥栄外 3 氏, 1961); 石棚山~檜洞丸 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962. 7. 2-3, 群落している)。

この種は温帯から亜高山帯にかけて生ずる寒地性シダであって根茎を長く引き、先に葉を接してつける。本種の分布は北海道、本州 (中部以北に多く、東海道以南に稀少、西は因幡)、四国 (阿波祖谷山, 伊予石槌山), サハリン島 (海馬島), 南満州, 朝鮮, 濟州島, 中国 (北部から雲南まで) におよぶ。

[138] *Dryopteris nipponensis* KOIDZUMI トウゴクシダ (田中, 1871) H(e)D₁R₃

横浜: 帷子川流域 (出口長男, 1952); 同, 上川井 (村上司郎, 1964. 11. 28), 金沢区釜利谷 (長谷川義人, 1957. 6. 9 YCM, オオトウゴクシダの型), 戸塚 (村上司郎, 1963. 8)。

三浦: 横須賀, 田浦 (斎藤照一, 1960. 7. 25 YCM; 石渡宏, 1967. 4. 1 YCM); 馬堀 (大谷茂, 1961. 6. 2 YCM); 衣笠山 (大谷茂, 1962. 2. 17 YCM); 久里浜久村 (大谷茂, 1962. 2. 18 YCM); 大楠山~子安, 前田川支谷 (山田友久, 1963. 1. 27 YCM, ヒロハトウゴクシダの型)。逗子, 神武寺 (府川勝蔵, 1939. 11—Det. 伊藤洋—ヒロハトウゴクシダの型; 逸見操, 1953. 5. 3 YCM; 長谷川義人, 1956. 3. 11 YCM; 大谷茂, 1959. 7. 20 YCM; 同, 1959. 9. 20 YCM; 石渡宏, 1966. 3. 13 YCM); 桜山 (大谷茂, 1958. 6. 21 YCM)。葉山, 二子山 (大谷茂, 1957. 7. 30 YCM; 同, 1962. 11. 18 YCM)。

鎌倉: 鎌倉 (府川勝蔵, 1934. 9. 23); 天園 (大谷茂, 1960. 10. 20 YCM); 今泉山 (大谷茂, 1963. 3. 28 YCM)。

平塚: 土屋 (守矢淳一, 1967. 10. 29 YCM)。

大磯: 高麗山 (守矢淳一, 1966. 8. 6 YCM)。

丹沢山塊: 大山・玄倉 (林弥栄外 3 氏, 1961), 玄倉 (大谷茂, 1963. 5. 11 YCM), 大倉 (岩城潔, 1963. 8. 17 YCM)。

道了山 (守矢淳一, 1963. 11. 11)。

箱根 (朝倉修一, 1952)。

この種は本州 (羽後, 磐城以南), 佐渡, 伊豆七島 (大島, 八丈島), 四国, 九州, 屋久島, 対馬に分布するもので, 和名は愛知県東春井郡東谷山 (198 m) による。

オオトウゴクシダ (小泉, 1931, var. *ambigens* KOIDZ.) とヒロハトウゴクシダ (小泉, 1931, Type loc. 肥後人吉—前原勘次郎, 1927, var. *dilatata* KOIDZ.) とは区別するほどのものではない。

本種を杉本順一氏はベニシダの変種 *Dryopteris erythrosora* var. *dilatata* (KOIDZ.) SUGIMOTO としている。

著者は昭和 38 年 8 月九州大隅においてトウゴクシダをしたしく観察したが, ベニシダとの中間形があり, また同一株に両者の葉が生じていたり, ベニシダとの間に移行型があるのが見られ杉本順一氏の説に同感である。

- [139] *Dryopteris polylepis* (FR. et SAV.) C. CHRISTENSEN ミヤマクマワラビ (松村, 1886)
(ヤグルマシダ, 田中, 1871) Ch(e)(r)D₁R₃

横浜: 港北区白根 (府川勝蔵, 1938.6.24, Det. 伊藤洋)。

丹沢山塊: 塔ヶ岳 (大谷茂, 1952.8.26 YCM), 札掛 (倉田悟, 1956), 檜洞丸 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957; 大谷茂, 1961.8.28 YCM), 山神峠 (田代・飯田・西尾, 1957.7.31), 用木沢 (田代・飯田・西尾, 1958.8.19), 白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958.8.20), 大倉 (岩城潔, 1960.8.17 YCM), ヤビツ峠~札掛~塔ヶ岳~丹沢山~本間の頭・蛭ヶ岳~檜洞丸~犬越路~大室山・ユーン・世附 (林弥栄外3氏, 1961), 石棚山檜洞丸間のブナ林下に群生 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.7.2~3), 熊木沢 (小粥康治, 1962.9.24 YCM), 蛭ヶ岳 (久保田金蔵, 1926.10.3; 城川四郎, 1964.7.12 YCM)。

この種は温帯の林下に生ずる日本固有のシダである。Type loc. は本州中部で, 明治初年 Savatier またはその助手の佐波一郎氏が採取したものである。

本州 (陸中・羽前以南), 四国, 九州 (日向, 肥後以北) に分布している。

- [140] *Dryopteris Sabaei* (FR. et SAV.) C. CHRISTENSEN ミヤマイタチシダ (松村, 1886)
H(e)D₁R₃

横浜: 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955.12.16 YCM)。津久井: 相模湖畔 (檜山庫三, 1949.11.29)

丹沢山塊: 札掛 (倉田悟, 1956), 用木沢 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1958.8.19), 大山・玄倉・ユーン (林弥栄外3氏, 1961), 札掛~トライゴヤ沢~塔ヶ岳 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.21)。

箱根: 神山 (府川勝蔵, 1933.6.9, Det. 大谷茂), 台ヶ岳 (小田原シダ研究グループ, 1957.8.17), 上場~台ヶ岳 (守矢淳一, 1965.8.13 YCM)。

湯河原 (長谷川義人, 1951.6.3 YCM)。

この種は温帯と暖帯の林下に生ずるシダで, 北海道 (南部), 本州, 佐渡, 伊豆七島 (御蔵島, 神津島), 四国, 屋久島 (九州にはない), 対馬に分布している。原標本は Savatier の助手の佐波一郎氏が明治初年日本 (採取地未詳) でとったものである。

- [141] *Dryopteris sacrosancta* KOIDZUMI ヒメイタチシダ (伊藤, 1936) H(e)D₁R₃

三浦: 横須賀市武山 (K. Teramoto, 1947.4.13 TI)。逗子神武寺 (府川勝蔵, 1939.11, Det. H. Ito)。葉山木古庭 (Taura, 木古場一久内清孝, 1933.10.29 TI—Ref. H. Ito, B.M.T. 50: 36.1936)。

鎌倉: 天園 (石渡宏, 1962.2.24 YCM)。

丹沢山塊: 札掛 (倉田悟, 1956), 中津溪谷 (逸見操, 1956.11.12 YCM), 大山蕨毛 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957), 西沢・用木沢・白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 札掛・玄倉 (山神峠)・ユーン (雨山峠)・長者舎・世附 (林弥栄外3氏, 1961), ユーン~玄倉 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.24)。

津久井城山 (佐藤達夫, 1936.10.4 TI 2点)。

道了山 (伊藤洋・飯田和・松島, 1956), 同 (石渡宏, 1964.12.29 YCM), 同 (大谷茂, 1965.

1.29 YCM)。

小田原水の尾 (飯田和, 1957.10.13 YCM)。

箱根二子山 (小田原シダ研究グループ, 1957.8.18)。

この種は暖帯下位の丘陵林下に生ずるもので、本州 (関東以西, 東海, 南畿, 山陽), 四国, 九州 (大隅高隈山まで), 対馬, 朝鮮, 遼東半島, 山東半島に分布している。古く Faurie が宮島で採取している (1913)。

杉本順一氏は広義のイタチンダ類を亜種としてまとめている (1966)。大場秀章氏の検し得た結果によると、寺本一雄氏の武山産のものは本種とするのに少しむずかしい点があるとのことである。

[142] *Dryopteris saxifraga* H. ITO イワイタチンダ (伊藤, 1936) E(e)ErD₁R₃

丹沢山塊: 札掛 (倉田悟, 1956), 用木沢 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1958.8.19), 山神峠 (田代・飯田・西尾, 1957.7.31), 車沢 (田代・飯田・西尾, 1959.8.29), 玄倉 (岩城潔, 1960.8.18 YCM), 札掛〜タライゴヤ沢〜塔ヶ岳 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.24), 箒沢 (城川四郎, 1960.10.16 YCM), 大山・札掛・熊木沢・ユースン・世附・玄倉 (林弥栄, 1961), 檜洞沢 (大場秀章, 1962.8.23 YCM), 熊木沢 (小粥康治, 1962.9.24 YCM)。

箱根: 駒ヶ岳 (久保田金蔵, 1939.4.30), 神山・二子山〜猿の小屋・早川上流 (小田原シダ研究グループ, 1957), 上二子山 (守矢淳一, 1965.7.29 YCM)。

この種は温帯を中心に林下の岩上に着生するシダで、北海道〜本州, 伊豆七島 (三宅島, 御蔵島, 八丈島), 四国 (稀), 九州 (稀), 南満州, 朝鮮, 済州島に分布している。古くは早田文蔵博士が富士山で採集している (1924)。

[143] *Dryopteris Sieboldii* (van HOUTTE) O. KUNTZE ナガサキンダ (三好, 1888) (オオミツデ, 松村, 1886) H(e)D₁R₃

湯河原: 伊豆湯河原, 泉 (陣野一郎, 1959.3.12), 湯河原, 中沢 (脇田圀輝, 1960.1), 同中畑 (飯田和, 1961.1.6 YCM), 湯河原 (石渡宏, 1964.1.15 YCM)。(稀産種)。

この種は暖帯下位の溪側に生ずるもので、本州 (上総, 相模, 伊豆, 駿河, 紀伊, 播磨, 周防), 淡路, 四国 (土佐, 伊予), 九州 (各地), 台湾, 中国に分布するが、神奈川県においては稀産種に属する。古くは松村任三博士が日向 (1882) に、大町信氏が長崎 (1888) に採取している。

[144] *Dryopteris Sieboldii* (van HOUTTE) O. KUNTZE

var. *Toyamae* (TAGAWA) KURATA ナガサキンダモドキ (田川, 1939) H(e)D₁R₃

湯河原: 中沢 (脇田圀輝, 1960.1), 中畑 (飯田和, 1961.1.6 YCM)。(極稀産)。

この種は暖帯下位に母種と混じて、ごく稀に生ずるものである。本州 (上総, 相模), 九州 (肥前, 肥後, 日向, 薩摩), 台湾に知られている。

本種の Type loc. は肥前虚空蔵山で外山三郎氏の採品 (1938) によるのであるが、古くは兼田広氏が肥後の田浦に採っている (1934)。

[145] *Dryopteris sparsa* (HAM.) O. KUNTZE ナガバノイタチシダ (松村, 1916) H(e)D₁R₃

三浦: 葉山, 二子山谷 (大谷茂, 1956.9.15 YCM, TOFO. 三浦半島新産), 同 (大谷茂, 1956.9.30 YCM; 同, 1956.11.7 YCM; 同, 1957.8.4 YCM; 同, 1957.11.24 YCM; 同, 1960.12.21 YCM)。

丹沢山塊: 世附 (林弥栄外3氏, 1961—著者は確認していない), 山麓の谷筋 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962—林弥栄氏の報告を引用したものであって, 著者は確認していない)。(稀産種)。

本種についての古い文献には, 逗子神武寺産として, 根本正康氏 (1945), 奥山春季氏 (1948 ならびに 1953), 石渡治一・増島弘行氏 (1950) など見えるが, 著者は確認していない, またこれらの標本はどこにも保管されていない。

この種は暖帯下位から亜熱帯の林下に生ずるもので, どちらかというとも亜熱帯性のシダである。本州 (上総, 安房, 相模以西, 東海, 近畿, 山陽), 四国, 九州, 種子島, 屋久島, 奄美諸島, 沖縄, 台湾, 熱帯アジアに分布している。

三浦半島二子山谷のものは一株著者の庭内に移植保管している (1960.12.21)。

[146] *Dryopteris tokyoensis* (MATSUM. ex MAKINO) C. CHRISTENSEN タニヘゴ (松村, 1886) Ch(e)(r)D₁R₃ (Fig. 2)

三浦: 葉山, 宝金山 (西山清治, 1965.11.1 YCM; 大谷茂, 1965.11.14 現地確認, 三浦半島新産), 同 (西山, 1966.6.5 YCM)。

箱根: 仙石原 (沢田武太郎, 1933.7.18—同氏は 1930 年頃よりきずかれていた), 同 (久保田金蔵, 1936.8.29), 同 (守矢淳一, 1953.8.24), 同 (大谷茂, 1954.8.11 YCM), 同 (小田原シダ研究グループ, 1957.8.17; 飯田和, 1959.7.22 TOFO), 同 (大谷茂, 1962.8.16 YCM), 同 (石渡宏, 1963.7.25)。(稀産種)。

この種は温帯を中心に湿原に生ずるシダで, 本県には少ないものである。本種の分布地域は, 北海道, 本州 (中部以北に多く, 東海道以南には少ない), 四国 (土佐, 伊予), 九州 (筑前, 筑後, 肥前, 肥後, 薩摩), 朝鮮 (京畿) である。

本種の Type loc. は東京の道灌山 (松村任三, 1884) である。

[147] *Dryopteris uniformis* (MAKINO) MAKINO オクマワラビ (牧野, 1909) Ch(e)(r)D₁R₃

川崎: 登戸 (東邦大学薬学科第2回卒業生, 1932)。

横浜: 帷子川流域 (出口長男, 1952), 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955.12.16-17-18-20 以上4点 YCM), 同区永田 (長谷川義人, 1955.12.24 YCM), 同区中里 (長谷川義人, 1955.12.25 YCM)。

三浦: 横須賀, 大楠山 (大谷茂, 1960.6.26 YCM; 石渡宏, 1961.5.3 YCM); 鷹取山 (石渡宏, 1965.8.29 YCM; 同, 1965.12.4 YCM, 典型品); 平作 (小板橋八千代, 1966.3.24 嫩葉, YCM)。逗子, 神武寺 (大谷茂, 1958.7.25 YCM; 同, 1959.4.14 YCM); 同 (大場秀章, 1963.5.3 YCM); 桜山 (大谷茂, 1955.8.23 YCM)。葉山, 木古庭 (斎藤照一, 1959.6.2 YCM)。

相模原市淵野辺 (逸見操, 1961.10.28 YCM)。

鎌倉: 北鎌倉 (大谷茂, 1956.2.19 YCM), 天園 (石渡宏, 1963.8.30 YCM)。

大磯: 高麗山 (守矢淳一, 1952.10.12; 同, 1966.8.6)。

愛甲郡宮ヶ瀬村 (逸見操, 1956.10.10 YCM)。

丹沢山塊：札掛（倉田悟，1956；大谷茂，1958.8.4 YCM），大山・札掛・ユーンシ（林弥栄外 3 氏，1961），箒沢（城川四郎，1961.11.15 YCM），一の沢考証林（大谷茂，1962.5.20 YCM）。山北洒水滝（逸見操，1957.6.2 YCM）。

箱根：湯本（箱根植物目録，1913），台ヶ岳・二子山（小田原シダ研究グループ，1957）。

この種は温帯，暖帯の溪側林下に生ずるシダで，北海道（奥尻島），本州（各地），伊豆七島（三宅島，神津島），四国，九州，対馬，済州島，朝鮮南部，中国東部に分布している。

本種を古くは牧野富太郎博士が東京池上（1886）で採取している。

[148] *Dryopteris varia* (LINN.) O. KUNTZE ナンカイイタチシダ（伊藤，1935）（イタチシダモドキ，早田，1917）（タイワンイタチシダ，松村，1916） H(e)D₁R₃

道了山（伊藤洋，1956）。

足柄下郡橋町羽根尾（田代信二，1957；同，1958.8.27 YCM）。

この種は暖帯下位から亜熱帯にかけて，近海地の林下やや乾燥したところに生じ，葉柄基部鱗片は光沢のある紫褐色を呈するものである。本州（上総，安房，相模以西，東海，南畿，長門，周防），伊豆七島，四国，九州，屋久島，奄美群島，沖縄，台湾，中国，インドなどに分布している。

[149] *Dryopteris varia* (LINN.) O. KUNTZE
var. *hikonensis* (H. ITO) KURATA オオイタチシダ（中井，1931）（キレコミイタチシダ，伊藤，1936） H(e)D₁R₃

横浜：帷子川流域上川井（出口長男，1952.11.14 YCM），南区弘明寺（長谷川義人，1955.12.8.-16-17 以上 3 点，YCM），同区中里（長谷川義人，1955.12.25 YCM，イタチシダとオオイタチシダの中間型），金沢区朝比奈（村上司郎・野間俊之，1958.6.8）。

三浦：横須賀，平作（大谷茂，1953.9.3 YCM）；大楠山（大谷茂，1959.11.8 YCM；石渡宏，1961.5.3 YCM）；久里浜久村（大谷茂，1962.2.18 YCM）；佐野ビワ山（大谷茂，1962.2.10 YCM）；田浦（石渡宏，1962.4.1 YCM；岩城潔，1962.11.11 YCM）；武（石渡宏，1963.4.21 YCM）；阿部倉（小板橋八千代，1965.12.27 YCM）；坂本（小板橋，1966.2.2 YCM，イタチシダとオオイタチシダの中間型）；金谷大明寺（小板橋，1966.2.7 YCM）；鷹取山（石渡宏，1966.2.12 YCM）。逗子，神武寺（府川勝蔵，1933.6.18 キレコミイタチシダ型，Det. H. Ito, 1938）；同（大谷茂，1949.10.30 YCM）；同（長谷川義人，1951.5.13 YCM；同，1955.12.4 YCM）；同（石渡治一，1951.8.7 YCM）；同（逸見操，1953.5.3 YCM）；同（大谷茂，1959.9.20 YCM）；同（村上司郎，1962.5.5）；同（石渡宏，1963.4.29 YCM）。葉山，二子山（大谷茂，1956.8.3 YCM）。

鎌倉：瑞泉寺～覚園寺（大谷茂，1957.8.18 YCM），散在ヶ池（大谷茂，1960.10.9 YCM），天園（大谷茂，1960.10.20 YCM，典型品）；石渡宏，1962.2.24 YCM），今泉山（大谷茂，1961.1.15 YCM；同，1963.3.28 YCM）。

大磯：高麗山（守矢淳一，1952.10.20）。

厚木市，浅間山（逸見操，1957.4.21 YCM）。

津久井郡，城山（歌川義男，1955.9.18）。

丹沢山塊：札掛（倉田悟，1956），大山（田代信二・飯田和・西尾和子，1957），大倉（岩城潔，1960.8.17 YCM），玄倉（岩城潔，1960.8.18 YCM），札掛・ユーンシ・世附（林弥栄外 3 氏，

1961), 大滝沢 (城川四郎, 1962.4.22 YCM)。

山北洒水滝 (遠藤将光, 1957.10.20 YCM), 同 (石渡宏, 1961.11.12 YCM)。

この種は暖帯下位の丘陵や近海の林地のやや乾燥したところに生ずるもので本県各地に見られるシダである。イタチシダとの中間型がある。本州 (関東以西に多い), 四国, 九州, 朝鮮, 中国に分布している。

本種は早くから日本で知られていたシダであって, Type loc. は近江の彦根 (伊藤洋, 1933) である。

[150] *Dryopteris varia* (LINN.) O. KUNTZE

var. *setosa* (THUNB.) OHWI イタチシダ (田中, 1871) H(e)D₁R₃

この種は暖帯林下に生ずるシダで葉の縁が裏側に巻く傾向がある。本県各地に多く見られるものであるが, 以下標本産地をあげると:

川崎: 登戸 (武蔵登戸附近植物目録, 1932)。

横浜: 鶴見三ツ池 (府川勝蔵, 1934.10, Det. H. Ito-1938), 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955.12.8-16-17-20 以上4点, YCM), 同区中里 (長谷川義人, 1955.12.25 YCM)。

三浦: 横須賀, 阿部倉 (大谷茂, 1954.8.2 YCM; 小坂橋八千代, 1966.2.1 YCM); 田浦温泉谷戸 (石渡宏, 1960.11.20 YCM); 佐野町ビワ山 (大谷茂, 1962.2.10 YCM); 安針塚 (小坂橋, 1966.12.24 YCM)。逗子, 神武寺 (大谷茂, 1959.8.30 YCM; 石渡宏, 1965.4.23 YCM)。

鎌倉: 瑞泉寺~寛園寺 (大谷茂, 1957.8.18 YCM), 天園 (石渡宏, 1960.10.23 YCM)。

相模原市淵野辺 (逸見操, 1961.10.29 YCM)。

大磯高麗山 (守矢淳一, 1952.10.20)。

厚木市日向薬師 (逸見操, 1958.11.3 YCM)。

愛甲郡中津溪谷 (逸見操, 1956.11.12 YCM)。

丹沢山塊: 札掛 (倉田悟, 1956), 大山・札掛・ユースン・玄倉・世附 (林弥栄外3氏, 1961), ヤビツ~札掛・檜洞沢・ユースン~玄倉 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.21)。

山北洒水滝 (大谷茂, 1962.1.4 YCM)。

箱根: 湯本・その他 (箱根植物目録, 1913), 早川上流・台ヶ岳・二子山・金時山 (小田原シダ研究グループ, 1957)。

湯河原 (大谷茂, 1957.11.10 YCM; 同, 1961.12.26 YCM)。

この種は本州 (奥羽の南部以南~中国地方), 伊豆七島, 四国, 九州, 対馬, 朝鮮南部, 中国に分布している。

本種は古くは, 明治初年に Bisset 氏が箱根宮の下で採取している。*Dryopteris bissetiana* (BAK.) C. CHR. の学名を採用する人もある。

Gymnocarpium Newman ウサギシダ属

[151] *Gymnocarpium oyamense* (BAK.) CHING エビランシダ (田中, 1871) (ジクオレンシダ, 田中, 1871) H(d)D₁R₁ (Fig. 1)

愛甲郡谷太郎林道 (斎藤照一, 1963.7.14 YCM)。

大山: 不動尊附近 (府川勝蔵, 1933.10.22), 同 (守矢淳一, 1954.7.26), 同 (秋山守, 1955.5.)

18), 同 (村上司郎, 1960.6.26), 蓑毛道 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957—西尾和子, 1957.7.7 YCM), 大山北面, 石尊沢 (城川四郎, 1967.10.23 YCM)。

丹沢山塊: 大滝沢 (久保田金蔵, 1935.8.26), 西丹沢中川 (大谷茂, 1949.8.9 YCM), 姫次 (城川四郎, 1955.7.14 YCM), 玄倉 (大谷茂, 1955.8.11 YCM), 札掛 (倉田悟, 1956—本谷川流域中腹の岩場に豊富), 西丹沢 (守矢淳一, 1957.10.20), 山神峠 (田代信二・飯田和・西尾和子, 1957.7.31), 石棚 (秋山守, 1958.5.4), 西丹沢白石沢 (秋山守, 1958.7.28), ユーシン (秋山守, 1958.7.23 YCM; 同, 1960.8.3 YCM), ユーシン~玄倉 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.23), 丹沢 (石渡宏, 1963.5.5 YCM), 西丹沢東沢 (菅野澄, 1963.7.1), 大山・札掛・津久井・蛭ヶ岳~犬越路・ユーシン・玄倉・袖平・世附 (林弥栄外 3 氏, 1961)。

箱根: 小塚山 (朝倉修一, 1959; 勝俣孝一, 1959.6.30), 矢倉岳 (田代信二, 1959.6.30), 小塚山下, 早川溪谷 (府川勝蔵, 1964.7.22), 箱根 (石渡宏, 1964.12.29 YCM)。

この種は温帯と暖帯上位に生ずるシダで, 本州 (上野, 武蔵, 甲信, 東海, 飛騨, 南畿, 摂津), 四国 (阿波, 土佐, 伊予), 中国南部, ネパールに分布している。

本種は明治初年, 本県の大山で見出されたもので, Type loc. は大山である。Franchet と Savatier の共著, 日本植物目録 (1876) に Savatier 氏が横須賀下浦で採集 (Savatier, no. 1539) したと記録されているが, これは産地の誤りで, このシダを三浦半島に期待することは無理である。

Leptorumohra H. Ito (1939) ナライシダ属

[152] *Leptorumohra Miqueliana* (MAXIM.) H. ITO ナライシダ (松村, 1886) H(d)D₁R₁

川崎: 登戸 (武蔵登戸附近植物目録, 1932)。

横浜: 神奈川区三ツ沢, 湿地杉林 (久内清孝, 1913), 港北区中山~白根 (府川勝蔵, 1933.5.14, Det. H. Ito—1938), 帷子川流域, 上川井・上白根・白根 (出口長男, 1953)。

三浦: 横須賀市田浦 (久内清孝, TI—現在, 東大に見当らない), 葉山木古庭 (今関六也, 1932.12.11 NSM, no. 38511), 同 (大谷茂, 1952.11.16 YCM 一株は著者庭内に移植)。

丹沢山塊: 原小屋~蛭ヶ岳・世附 (林弥栄外 3 氏, 1961), 檜洞沢 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.21)。

足柄下郡橋町羽根尾 (西尾和子, 1956)。

湯河原泉地区 (石渡宏, 1961.12.10 YCM)。

この種は温帯のブナ林下に多く生ずるシダで北海道 (各地), 本州 (中部地方以北に多い), 四国 (少い), 九州 (霧島山以北, 稀), 屋久島 (極稀), 満州, 朝鮮, 濟州島, うつ陵島, 中国に分布している。本県産シダのなかでは少ないほうである。清澄山など房総国界山脈に見出せない唯一の三浦半島産温帯性シダとしてナライシダは注目に値するものである。

III. 増 補

[153] *Athyrium nikkoense* MAKINO イワイヌワラビ (牧野, 1903) Ch(d)D₁R₃

箱根: 台ヶ岳 (城川四郎, 1965.10.11 YCM 神奈川県新産)。

この種は牧野富太郎先生が, 日光の庚申山に始めて採集 (1901) されたもので, 温帯性シダで岩壁などに稀に見られるものである。従来北海道, 本州 (駿河, 伊豆, 武蔵一秩父, 下野—日光) にその分布が知られていた。

たまたま城川四郎氏の標本を見ていたところ箱根の採品中に本種があった。杉本順一氏は相模をあげているが、相模産としては、これが始めてで神奈川県新産としてここに発表する。

城川氏の採取品は全長、一番大きいもので 20 cm, 羽片は 15 対くらい、羽片上側に耳垂があり、sorus は辺寄りで腎形のものゝ鉤形のものゝまじっている。

IV. 訂 正

本誌前号 (No. 12, 1967), p. 67, 附記 2, No. 7 の記載の中で、大きな誤りをおかしたので、ここに訂正する。すなわちメンダのグループは "Athyrium 属にいれてもよいが、他のものとは少しちがう点がある" と言ったのはまちがいであって、メンダ類は "Athyrium の基準となるものである" と訂正する。
(以下次号につづく)

Summary

I. Introduction

This report continues the report published in the previous issue of this Journal (1967, #13). This report deals with *Diplazium*, *Dryopteris*, *Gymnocarpium*, and *Leptorumohra* of the *Aspidiaceae* in Kanagawa Prefecture. The abbreviations concerning the life form and reproductive form are those explained in #12, 1966. Most of the information concerning the distribution of the plants is based on personal observations of the author, but some has been taken from other reliable sources. In order to contribute to the fern distribution history of Kanagawa, forms once found but now extinct have also been recorded. Classification follows that of Namegata & Kurata (T. Namegata and S. Kurata: An Enumeration of the Japanese Pteridophytes), with some exceptions taken from more recent publications.

II. Important Notes

A. Among the ferns of Kanagawa, the following are especially rare, or occur in very limited situations:

Diplazium chinense (Text, no. 113), *Diplazium nipponicum* (Text no. 114), *Diplazium sibiricum* var. *glabrum* (Text, no. 115), *Dryopteris championi* (Text, no. 123), *Dryopteris championi* var. *tenuifrons* (Text, no. 124), *Dryopteris fuscipes* (Text, no. 131), *Dryopteris gymnohylla* (Text, no. 132), *Dryopteris hakonecola* (Text, no. 133), *Dryopteris monticola* (Text, no. 137), *Dryopteris Sabaei* Text, no. 140), *Dryopteris saxifraga* (Text, no. 142), *Dryopteris Sieboldii* (Text, no. 143), *Dryopteris Sieboldii* var. *Toyamae* (Text, no. 144), *Dryopteris sparsa* (Text, no. 145), *Dryopteris tokyoensis* (Text, no. 146), *Dryopteris varia* (Text, no. 148), *Gymnocarpium oyamense* (Text, no. 151), *Leptorumohra Miqueliana* (Text, no. 152).

B. Forms which once existed in Kanagawa, but now can no longer be seen, are the following:

Dryopteris decipiens (HOOK.) O. KUNTZE (Text, no. 127).

This species was found in only one spot in Yokohama, and was important in the distributional geography of the plants, but was destroyed in an avalanche caused by a typhoon.

C. The *Diplazium chinense* (Text, no. 113) of Hayama and Futagoyama is at the point of extinction because of destruction of the habitat for housing projects: the author has therefore transplanted one to his own garden and is protecting it there. He has done the same for *Dryopteris sparsa* (Text, no. 145).

D. New record; *Dryopteris tokyoensis* (Text, no. 146), once found only in Sengokubara of Hakone, has been recorded Hokinzan in Hayama of Miura Peninsula (1965).

E. The following have been recorded from Kanagawa, but the records are dubious:

1) *Dryopteris Championi* (Text, no. 123) is recorded from Yokohama, but this is dubious.

2) *Gymnocarpium oyamense* (Text, no. 151) was recorded by Savatier (1876) from Shitaura in Yokosuka, but this is clearly a mistake.

F. Type locality for *Gymnocarpium oyamense* (Text, no. 151) is Oyama, Sagami, Kanagawa Pref.

G. The status of the name *Dryopteris austriaca* (Text, no. 121) has not yet been resolved. V. H. Heywood in *Flora Europaea*, p. 21 (1964) uses *Dryopteris dilatata* (HOFFM.) A. GRAY according to this, the classification of *D. a.* form. *oblonga* (Text, no. 122) should be *Dryopteris dilatata* form. *oblonga* (TAKEDA).

III. Supplement

[153] *Athyrium nikkoense* MAKINO; Hakone, Prov. Sagami (Shirō Kigawa, Oct. 11, 1965).

IV. Corrections

No. 7, p. 67 of #12 of this Journal should be corrected to read "The *Athyrium brevifrons* group is typical for the genus *Athyrium*".

(to be continued).

引用文献

- 朝倉修一, 外3氏. 1957: 小田原附近の羊歯植物目録: 3-4.
 出口長男. 1953: 多摩丘陵帷子川流域の植物: 12-13, 19.
 箱根植物調査会. 1913: 箱根植物目録, 箱根植物: 34, 149-151.
 林 弥栄, 外3氏. 1961: 丹沢山塊の植物調査報告, 林業試験場研究報告 133 号別刷: 47-49.
 伊藤 洋. 1933: 日本シダ類ニュース(その一), オオベニシダ, 植物研究雑誌 9(1):55-57, (Fig. 3,4-a, 5-a).
 伊藤 洋. 1936: ヒメイタチシダ, 植物学雑誌 50: 36.
 小泉源一. 1932: 東亜植物の考察 (ヒロハベニシダ), 植物分類地理 1(1): 31-32.
 倉田 悟. 1953: 三浦半島のシダ, 植物趣味 15(1-2): 14-15.
 倉田 悟. 1956: 東丹沢のシダ, 野草 206: 3-4.
 増島弘行・石渡治一. 1950: 三浦半島植物誌, 横須賀市史 6: 21-22.
 行方沼東・倉田 悟. 1961: 日本産シダ植物総目録, シダの採集と培養: 290-292, 294-306.
 西田 誠, 外2氏. 1964: シダ植物の分布と生態, 丹沢・大山学術調査報告書: 181, 183.
 大場秀章. 1962: 丹沢採集記, 日本シダの会々報 60: 6 (433)-7 (434).
 大谷 茂. 1956: 三浦半島の羊歯, 横須賀市博物館研究報告 1: 16-18.
 大谷 茂. 1957: 三浦半島羊歯植物への寄与 (その一), 横須賀市博物館研究報告 2: 5.
 大谷 茂. 1958: 三浦半島羊歯植物への寄与 (その二), 横須賀市博物館研究報告 3: 23.
 大谷 茂. 1958: 羊歯植物門, 神奈川県植物誌: 13-16.
 大谷 茂. 1960: 神奈川県産植物の報告, 横須賀市博物館研究報告 5: 28.
 大谷 茂. 1962: 三浦半島植物雑記 (その3), 横須賀市博物館研究報告 7: 44.
 大谷 茂. 1963: 三浦半島植物雑記 (その4), 横須賀市博物館研究報告 8: 93-94.
 杉本順一. 1966: シダ植物篇, 日本草本植物総検索誌 111: 242-286.
 沢田武太郎. 1934: 箱根植物雑記 (その一), 植物研究雑誌 10 (12): 37.
 帝国女子医薬専門学校薬学科第2回卒業生. 1932: 武蔵登戸附近植物目録: 62-63.
 歌川義男. 1955: 城山(神奈川県)採集記, 野草 197: 6-7.
 吉川代之助. 1965: 神奈川県津久井町根小屋採集記, 野草 288: 87-89.
 Franchet and Savatier. 1879: Enum. Pl. Jap. 2: 236 (no. 2424), 244 (no. 2453).
 V.H. Heywood. 1964: *Dryopteris*, *Flora Europaea*: 21.
 Kurata, S. 1963: On the Japanese Ferns Belonging to the *Diplazium Wichurae* group, *Sci. Rep. Tohoku Univ. Ser. IV (Biol.)* 29: 263, Distribution map.



Fig. 1. *Gymnocarpium oyamense*. Sekisonzawa, Ohyama, Prov. Sagami.
エビランダ (相模, 大山, 石尊沢, Oct. 23, 1967 城川四郎氏撮影)。

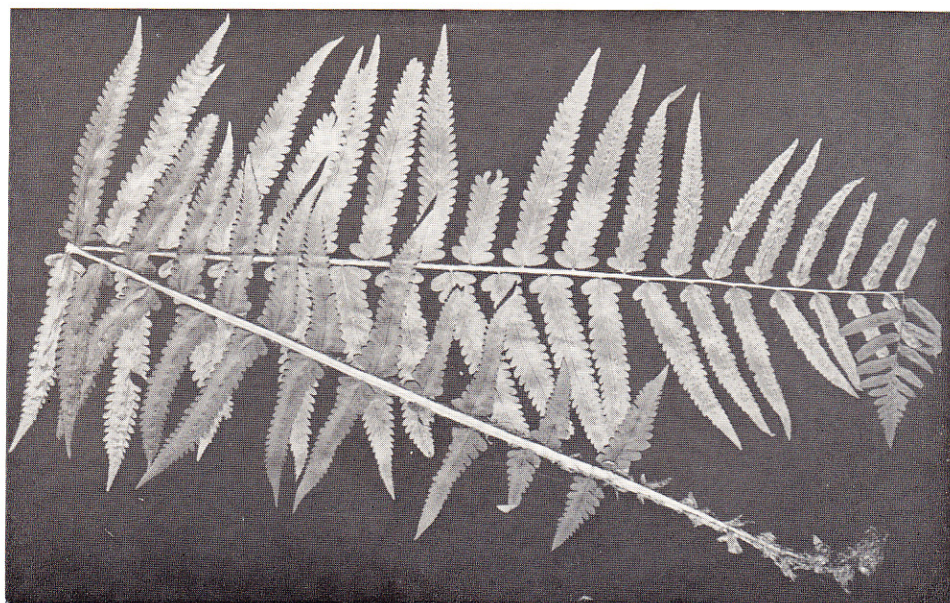


Fig. 2. *Dryopteris tokyoensis*. Hōkinzan, Hayama, Prov. Sagami. タニヘゴ (相模, 葉山町, 宝金山北西側の谷, 西山清治 Jun. 5, 1966 標本撮影)。



Fig. 4. *Diplazium sibiricum* var. *glabrum*. Mt. Kamifutago, Hakone, Prov. Sagami. シヤマシダ (相模, 箱根上二子, Jul. 29, 1965 守矢淳一氏撮影)。



Fig. 6. *Dryopteris dilatata*. Mt. Kamiyama, Hakone, Prov. Sagami. シラネワラビ (相模, 箱根神山, Jul. 29, 1965 守矢淳一氏撮影)。



Fig. 3. *Diplazium chinense*. Ikusawa, Ohiso, Prov. Sagami. ヒカゲワラビ (相模, 大磯生沢, Jun. 12, 1960 田代信二氏撮影)。



Fig. 5. *Dryopteris crassirhizoma*. Mt. Kamifutago, Hakone, Prov. Sagami. オシダ (相模, 箱根上二子, Jul. 29, 1965 守矢淳一氏撮影)。